

総合情報基盤センターの紹介

総合情報基盤センター長 渡辺義明

従来の学術情報処理センターに代わり、総合情報基盤センターが平成18年2月1日に設置されました。関係者の皆様のご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。以下に概要を紹介いたします。

情報基盤は、研究・教育などの大学の活動を支える情報関連の基盤を意味しており、大学にとって重要な役割を担っています。この情報基盤に関して、法人化による各種システムや考え方の変化、大学財政の緊縮化、情報機器の普及・進展による情報基盤の高度化・多様化など、環境の変化が急激です。さらに、行政改革の取り組みとして業務やシステムの最適化等も求められています。

こうした環境の変化に対応した情報基盤のあり方を検討するために、情報政策委員会の下にワーキンググループが設置されました。

ワーキンググループでは、「学術情報基盤は、学術研究の基礎であり、いまや学術研究活動において重要な役割を果たすようになってきている。本学においても、限られた資源をより充実し、最大限の効果を生み出すために、学術情報基盤を構成する組織を統合し、総合的かつ戦略的に推進する体制が必要である」との基本的考え方に基づいて検討を行いました。

その結果、「情報基盤の統合管理組織として総合情報基盤センターを設置して従来の学術情報処理センターと情報企画室を統合すること。情報管理係を新設して大学データベースに係る業務を行うこと。電子図書館及び図書館業務システムは従来どおり情報図書館課電子情報係を併任して行うこと。大学データベースに入力する必要のある事務担当部門に担当職員を併任すること。今後、大学情報基盤全体を円滑に維持・発展させるために企画・調査・設計・開発・研究を含めた体制を取れるよう速やかに適切な人員再配置を行うこと。センターと情報企画室を統合した作業スペースを確保すること。図書館とのサービス統合を進められる建物の新設を目指すこと」が情報政策委員会へ答申されました。

この答申を受けて情報政策委員会、教育研究評議会等で検討された結果、平成18年1月20日にセンター規則が制定され、平成18年2月1日の設置となりました。

本センターは「佐賀大学における学術情報を支える基幹情報システムを統括するとともに、本学の共通的情報基盤の整備推進及び電子図書館機能の充実並びに事務情報化の推進を図ること」を目的として、関係各課の協力を得て以下の業務を行うこととしています。

- (1) 基幹情報ネットワークの整備及び維持に関すること。
- (2) 共通的情報システムの情報基盤の整備及び維持に関すること。
- (3) 電子図書館の整備及び維持に関すること。
- (4) 大学データベースの整備及び維持に関すること。

- (5) 学内及び地域情報化の技術支援に関すること。
- (6) 事務情報化の推進及び支援等に関すること。
- (7) その他共通的情報基盤の整備及び維持に関すること。

センター教職員一同、上記の業務遂行に向けて精一杯努力する所存です。皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

なお、当面の人員配置は、大学データベース整備に必要な緊急措置を中心としております。情報基盤を円滑に維持・発展させるための、企画・調査・設計・開発・研究を含めた組織や関連設備の整備は今後の課題です。この点に関しても、皆様のご理解をお願い申し上げます。